

瀬戸内町 町勢要覧

資料編

目次

概況	27
人口	29
農業・漁業・運輸・産業	30
道路・住宅・商業・観光	31
環境・衛生	32
教育	33
文化・自然	34
行財政	36
行政機構図	37
歴代三役・正副議長	38
瀬戸内町のあゆみ	39

■地勢・気候

瀬戸内町は、鹿児島市の南方約400km、奄美大島の最南端に位置しており、北部を宇検村と奄美市住用町に接しています。総面積は、239.65km²で奄美大島と大島海峡を挟んで、加計呂麻島、請島、与路島の有人3島を含んだ行政区域となっています。

地形は、平地が少なく面積のほとんどが山林で占められています。また、沿岸部は典型的なりアス海岸となっており、昔から天然の良港として利用されてきました。

気候は、亜熱帯海洋性で年間を通じて温暖多雨となっており、台風の常襲地帯として知られています。

■瀬戸内町面積

資料：令和2年度奄美群島の概況
面積：国土地理院(令和3年10月1日)

		面積 (km ²)	周 囲 (km)	鹿児島市までの距離 (km) (航路距離)
瀬戸内町		239.65	—	—
島別	奄美大島	137.12	—	—
	加計呂麻島	77.25	147.5	(新港) 460
	請島	13.34	24.8	(新港) 478
	与路島	9.35	18.4	(新港) 487

(注) 島の合計面積と町面積が一致しないのは、町面積に離れ小島の面積が含まれているためである。

■瀬戸内町役場及び東西南北端点の経度緯度 (世界測地系)

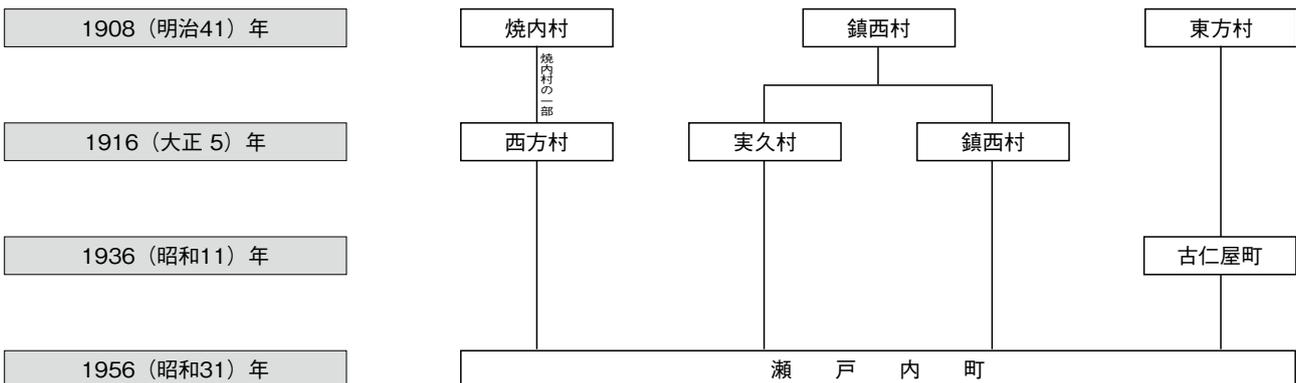
資料：国土地理院
期日：令和3年4月1日

	瀬戸内町役場	東 端	西 端	南 端	北 端
経 度	129° 18' 53"	129° 25' 47"	129° 08' 04"	129° 15' 02"	129° 08' 38"
緯 度	28° 08' 47"	28° 11' 37"	28° 15' 14"	27° 59' 52"	28° 15' 19"

(注) 各端点は2万5千分の1地形図を利用して求めています。各端点が島の場合は、面積0.01km²以上を対象としています。

■沿革

昭和39年9月1日に、西方村、実久村、鎮西村、古仁屋町の4町村が合併し、瀬戸内町が誕生しました。



資料：税務課
 期日：令和4年1月1日現在
 単位：km²、%

■地目別面積

地目	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他	合計
地積	1.05	12.2	2.28	26.71	34.87	0.65	161.89	239.65
構成比	0.4	5.1	1.0	11.1	14.6	0.3	67.5	100

■土地別内訳

資料：令和2年度奄美群島の概況
 単位：km²、ha

区分	総面積 (km ²)	耕地面積 (ha)			林野面積 (ha)		
		田	畑	計	国有林	民有林	計
面積	239.65	7	311	318	1,019	19,615	20,634

(注) 総面積は国土地理院調べ（令和3年10月1日現在）。

■令和2年古仁屋地域気象観測所気象表

資料：令和2年度奄美群島の概況

要素／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
平均気温 (°C)	17.0	16.9	18.2	18.1	23.2	26.7	28.3	29.1	27.2	24.4	22.2	17.5	22.4
日最高気温の平均 (°C)	19.6	19.5	21.0	21.4	25.8	28.9	30.4	31.7	29.7	27.6	24.7	19.9	25.0
日最低気温の平均 (°C)	14.5	13.9	15.3	14.8	20.8	25.0	26.6	26.7	25.1	21.8	19.8	15.3	20.0
最高気温 (°C)	24.0	23.8	24.7	24.9	28.5	31.8	32.9	33.3	32.5	29.8	29.2	23.8	33.3
起日	25	14	23	18	29	14	22	16	3	2	7	11	8/16
最低気温 (°C)	10.1	9.8	11.5	12.4	16.0	22.9	24.3	24.1	22.2	17.4	15.6	9.1	9.1
起日	30	6	6	13	1	6	17	23	30	25	29	31	12/31
平均風速 (m/s)	2.4	2.4	2.4	2.2	2.4	2.4	2.2	2.7	2.5	2.2	2.4	2.4	2.4
最大風速 (m/s)	10.1	10.2	9.3	12.3	8.1	7.3	6.5	11.8	18.7	9.6	7.4	8.2	18.7
風向	西北西	西北西	西北西	西北西	東	南南東	南南東	南東	西北西	北北西	南東	西北西	西北西
起日	27	17	16	13	30	9	26	9	6	8	18	30	9/6
降水量 (mm)	104.5	47.5	191.5	131.0	288.0	615.5	251.0	225.5	447.5	71.5	19.5	88.0	2481.0
日最大降水量 (mm)	56.5	11.5	51.5	46.0	66.5	123.5	66.5	50.0	136.0	41.0	6.5	21.5	136.0
起日	26	16	19	12	18	17	1	27	6	22	20	24	9/6
最大1時間降水量 (mm)	15.5	8.0	13.0	30.0	30.5	54.5	32.0	25.0	45.5	17.5	4.5	5.0	54.5
起日	26	29	28	12	18	17	1	23	9	23	18	8	6/17
降水日数 (降水量≥1mm)	9	8	15	11	17	17	11	13	19	7	5	15	147
日照時間 (h)	101.6	102.1	116.2	153.7	124.6	75.9	146.0	209.5	114.2	176.7	139.3	58.5	1518.3

資料：町民生活課
 期日：各年3月31日現在
 単位：人

■人口動態

区 分		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
瀬戸内町	男	4,406	4,370	4,287	4,358	4,318	4,283	
	女	4,770	4,661	4,578	4,543	4,505	4,399	
	計	9,176	9,031	8,865	8,901	8,823	8,682	
島	奄美大島	男	3,727	3,700	3,632	3,714	3,689	3,682
		女	3,984	3,897	3,828	3,818	3,805	3,746
		計	7,711	7,597	7,460	7,532	7,494	7,428
	加計呂麻島	男	599	594	578	565	555	529
		女	691	671	657	636	617	569
		計	1,290	1,265	1,235	1,201	1,172	1,098
別	請島	男	47	45	48	46	45	45
		女	47	48	52	48	45	46
		計	94	93	100	94	90	91
	与路島	男	33	31	29	33	29	27
		女	48	45	41	41	38	38
		計	81	76	70	74	67	65
古仁屋市街地	男	2,527	2,509	2,473	2,430	2,400	2,413	
	女	2,765	2,712	2,641	2,622	2,594	2,570	
	計	5,292	5,221	5,114	5,052	4,994	4,983	

資料：国勢調査
 期日：各年3月31日現在
 単位：人、戸

■人口・世帯の推移

区 分	人 口 (人)							世 帯 (世帯)							
	昭和45	昭和60	平成12	平成17	平成22	平成27	令和2	昭和45	昭和60	平成12	平成17	平成22	平成27	令和2	
瀬戸内町	17,273	13,269	11,649	10,782	9,874	9,042	8,546	5,537	5,198	5,052	4,861	4,677	4,413	4,270	
島	本島側	12,305	10,699	9,580	8,937	8,211	7,614	7,318	3,908	3,979	4,033	3,900	3,808	3,649	3,592
	加計呂麻島	3,841	2,009	1,704	1,547	1,428	1,262	1,081	1,284	952	815	788	726	656	585
	請島	614	325	200	161	132	82	77	192	149	113	96	83	56	52
別	与路島	513	236	165	137	103	84	70	153	118	91	77	60	52	41

資料：令和2年度奄美群島の概況
 期間：1月～12月
 単位：人、件

■平成30年度人口自然動態

区分	出 生			出生率	合計特殊出生率	死 亡			乳児死亡			死産	婚姻	離婚	
	計	男	女			計	男	女	計	男	女				
市町村															
瀬戸内町	66	40	26	7.7	1.92	172	83	89	0	0	0	4	38	20	

注1 合計特殊出生率は、平成25年から平成29年の厚生労働省推定値（ベイズ）を使用。

■総農家戸数及び耕地面積

資料：奄美群島の概況

年	項目	総農家	耕地面積	田	畑	畑地率	一戸平均耕地面積
平成23年		308 戸	337 ha	7 ha	330 ha	97.9 %	109.4 a
平成26年		308	337	7	330	97.9	109.4
平成27年		308	327	7	311	97.9	106.2
令和元年		230	318	7	311	97.8	138.3

注1 耕地面積は農林水産省・面積調査による。

2 一戸平均耕地面積は、耕地面積を農家戸数（2015年農林業センサス）で除した数値である。

■魚種別生産量及び生産額

出所：令和2年度奄美群島の概況（資料：農林水産統計、大島支庁林務水産課）

期日：平成30年1月～12月

単位：トン、千円

海面漁業				養殖業	
魚類（あじ、かつお、まぐろ、たい、さめ、さわら、ぶり、その他魚）		魚類以外（いか、えび、その他水産動）		真珠、魚類、くるまえび、海藻類	
生産量	生産額	生産量	生産額	生産量	生産額
462	211,409	32	42,113	3,431	253,522

■主な漁業種類別経営体数

資料：2018年漁業センサス

期日：平成30年11月1日現在

経営体 (実数)	網漁業			釣り漁業			その他漁業			養殖業						
	刺網	小型定置網	その他の網	延縄	かつお	いか	曳縄	潜水器漁業	採貝・採藻	その他	ぶり類	まぐろ	まぐろ類	くるまえび	海藻類	真珠・母貝
46	—	2	2	—	2	7	25	5	7	13	4	6	5	1	—	10

■産業別従業者数

資料：平成30年度市町村民所得推計報告書

産業	項目	市町村内常住人口							市町村間移動 (内民差) 7	市町村内 就業人口 8 = 6 - 7
		雇 用 者 1	役 員 2	計 3 = 1 + 2	個人業主 4	家族従業者 5	合 計 6 = 3 + 4 + 5			
第一次産業	1~3	234	14	248	110	15	373	-5	378	
農 業	1	10	2	12	74	12	98	-4	102	
林 業	2	19	0	19	8	1	28	3	25	
水産業	3	205	12	217	28	2	247	-4	251	
第二次産業	4~6	389	68	457	59	12	528	-33	561	
鉱 業	4	6	3	9	0	0	9	1	8	
製 造 業	5	70	9	79	20	8	107	-3	110	
建 設 業	6	313	56	369	39	4	412	-31	443	
第三次産業	7~18	2,415	100	2,515	395	125	3,035	-32	3,067	
電気・ガス・水道・廃棄物処理業	7	30	0	30	0	0	30	-1	31	
卸売・小売業	8	277	34	311	115	39	465	0	465	
運輸・郵便業	9	147	11	158	39	4	201	-5	206	
宿泊・飲食サービス業	10	140	8	148	109	46	303	-2	305	
情報通信業	11	11	1	12	5	0	17	1	16	
金融・保険業	12	31	0	31	0	0	31	2	29	
不動産業	13	6	0	6	3	0	9	1	8	
専門・科学技術・業務支援サービス業	14	113	2	115	13	2	130	-3	133	
公 務	15	469	0	469	0	0	469	-6	475	
教 育	16	204	0	204	0	0	204	-21	225	
保健衛生・社会事業	17	811	23	834	12	6	852	-5	857	
その他のサービス	18	176	21	197	99	28	324	7	317	
就業人口計	1~18	3,038	182	3,220	564	152	3,936	-70	4,006	

■公営住宅建設の状況

資料：建設課都市整備係
期日：令和4年1月31日現在

事業別	区分	簡易耐火 平屋建	簡易耐火 2階建	中層耐火 3階建	中層耐火 4階建	中層耐火 5階建	中層耐火 6階建	計 (戸)
	一住 般公 営宅	一般	8	99	6	112	371	24
特目								0
災害								0
奄美復興事業		10						10
奄美振興事業		8						8
特定離島事業		22						22
計		48	99	6	112	371	24	660

■観光入込客数

資料：水産観光課
単位：人

年月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和元年	7,088	6,102	7,490	12,930	13,686	10,761	18,104	24,276	10,903	18,289	11,788	8,664	150,081
令和2年	9,860	8,503	5,942	4,894	2,406	5,937	9,773	9,112	6,835	14,923	11,291	3,135	92,611
令和3年	3,085	2,803	4,131	6,681	7,500	6,907	9,980	9,426	6,295	13,512	10,870	8,175	89,365

■医療施設及び従事者数

資料：令和2年度奄美群島の概況
期日：令和2年10月1日現在

医療施設数				医療施設等従事者数												
病院		一般診療所		助産所	歯科診療所	医師	歯科医師	薬剤師	看護師		保健師	助産師	指圧師	はり師	きゆう師	柔道整復師
病院数	病床数	診療所数	病床数						看護師	准看護師						
2	254	9	38	1	4	9	7	10	—	—	—	—	6	7	7	3

■環境衛生施設

資料：令和2年度奄美群島の概況
期日：令和2年3月31日現在

公衆浴場	理容所	美容院	クリーニング所	し尿処理場	旅館	浄化槽設置数
(1) 2	15	36	8	2	95	1,978

(注) () は一般公衆浴場

■令和2年度ごみ収集状況

資料：町民生活課
単位：トン

収集区分	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	合計
収集量	2,626	2,192	186	149	5,153

■上水道の現況

資料：水道課
期日：令和3年3月31日現在

設置	給水人口(人)		日最大給水量(m ³)		1人1日当たり最大給水量(ℓ)	1人1日当たり平均給水量(ℓ)
	計画	現在	計画	現在		
昭和31年4月	7,300	7,406	6,174	4,701	635	379

■上水道・簡易水道普及率

資料：水道課
期日：令和3年3月31日現在

種別	区分	人口	戸数	集落	給水人口	普及率(%)
上水道	既設	7,406	4,315	21	7,406	99.7
	未設	22	18	2	0	
簡易水道及飲料水供給施設	既設	1,114	767	22	1,114	88.8
	未設	140	93	11	0	

■令和2年度がん検診状況

資料：保健福祉課

種別	区分	対象人数	受診者		要精検者	
			人数	受診率	人数	受診率
胃がん		6,100	200	3.3	27	77.8
子宮がん		3,776	640	16.9	5	40
肺がん		6,100	630	10.3	16	56.3
乳がん		3,189	582	18.3	20	80
大腸がん		6,100	614	10.1	57	57.9

■小学校児童数及び教職員数

資料：学校基本調査
期日：各年5月1日現在

区分 年度	児 童 数 (人)						計	学 級 数	教 職 員 数 (人)									学 校 数
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年			校 長	教 頭	教 諭	講 師	養 護	養 助 教	栄 養 教	事 務 職	計	
平成30年	77	76	76	86	75	58	448	44	10	5	30	19	8	—	1	7	80	14
令和元年	72	81	78	78	88	75	472	48	10	5	34	17	8	—	1	7	82	14
令和2年	73	71	85	79	72	89	469	49	9	3	38	15	11	—	1	7	84	14
令和3年	65	74	65	81	73	66	424	47	9	4	37	10	9	—	1	7	77	13

■中学校生徒数及び教職員数

資料：学校基本調査
期日：各年5月1日現在

区分 年度	生 徒 数 (人)				計	学 級 数	教 職 員 数 (人)							学 校 数
	1 年	2 年	3 年	計			校 長	教 頭	教 諭	講 師	養 護	事 務 職	計	
平成30年	76	61	63	200	19	3	5	31	10	1	1	51	12	
令和元年	54	75	58	187	15	3	5	31	5	1	1	46	12	
令和2年	68	55	73	196	18	3	5	25	14	1	1	49	12	
令和3年	83	66	52	201	18	3	6	33	8	1	1	52	11	

■中学卒業者の進路状況

資料：学校基本調査
期日：各年5月1日現在

年度 区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
総 数	96	65	63	68	58
進 学	95	64	63	66	57
就 職	—	—	—	2	1
就職進学	—	—	—	—	—
そ の 他	1	1	—	—	—

■幼稚園児及び職員数

資料：令和3年度学校基本調査
期日：令和3年5月1日現在

幼稚園名	学級数	教職員数 (人)	園児数 (人)	
古仁屋小学校 付 属 幼 稚 園	3	5	3歳	14
			4歳	19
			5歳	30
			計	63
古仁屋信愛幼稚園	2	5	3歳	17
			4歳	20
			5歳	21
			計	58

■古仁屋高等学校の生徒数及び学級数

資料：奄美群島の概況
期日：各年5月1日現在

年 度	生徒数 (人)	学級数	課 程	年 度	生徒数 (人)	学級数	課 程
平成28年	149	6	普 通 科	令和元年	98	3	普 通 科
平成29年	129	5	普 通 科	令和2年	99	3	普 通 科
平成30年	107	4	普 通 科	令和3年	100	3	普 通 科

■古仁屋高等学校卒業生の進路状況

資料：学校基本調査
期日：各年5月1日現在

進路別	年 度	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
卒 業 生 徒 数 (人)	人 数	35	57	44	42	35
	進 学 者	25	37	31	18	25
進 学 者	進 学 率 (%)	71.4	64.9	70.4	42.8	71.4
	就 職 者	人 数	9	19	11	23
進 学 率 (%)		25.7	33.3	25	54.7	22.8
そ の 他 (人)		1	1	2	1	2

(1)国、県指定文化財

民俗文化財

〈無形民俗文化財〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
国指定重要無形民俗文化財 諸鈍芝居（シバヤ）	瀬戸内町諸鈍	諸鈍芝居保存会	昭和51年5月4日
県指定無形民俗文化財 油井の豊年踊り	瀬戸内町油井	油井豊年踊り保存会	昭和58年4月13日

〈有形民俗文化財〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
サジ	瀬戸内町立郷土館	町教育委員会	平成15年4月22日
サジ	〃	〃	〃
首飾り	〃	西 鐵 夫	〃
首飾り	〃	町教育委員会	〃
玉ハベラ	〃	西 鐵 夫	〃
首飾り・袋	〃	町教育委員会	〃
胴衣	〃	〃	〃
大袖衣	〃	〃	〃
大袖衣	〃	〃	〃
大袖衣	〃	〃	〃
神扇	〃	〃	〃
神扇	〃	〃	〃
丸櫃	〃	西 鐵 夫	〃

〈天然記念物〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
請島のウケユリ自生地	瀬戸内町池地	瀬戸内町	平成20年4月22日

(2)町指定文化財

有形文化財

〈建造物〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
西家住宅（石垣含む）	瀬戸内町伊子茂	西 鐵 夫	昭和56年5月13日

〈絵 画〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
屏風絵6画	瀬戸内町立郷土館	西 鐵 夫	昭和56年5月13日

〈彫 刻〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
龍樋	瀬戸内町立郷土館	町教育委員会	平成10年5月6日

〈工 芸 品〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
香灯3基	瀬戸内町立郷土館	西 鐵 夫	昭和53年12月6日
香灯台	〃	〃	〃
敷物2枚（西洋織物）	〃	〃	〃
シャム南蛮壺	〃	町教育委員会	平成10年5月6日

〈古 文 書〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
検地帳	瀬戸内町立郷土館	町教育委員会	平成10年5月6日
目録	〃	〃	〃
系図	〃	〃	〃
瀬戸内西間切西掟職辞令書	〃	〃	〃

〈古文書〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
タル宛得分規定辞令書2通	瀬戸内町立郷土館	町教育委員会	平成10年5月6日
ネタチ宛得分規定辞令書3通	〃	〃	〃

〈考古資料〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
類須恵器	瀬戸内町立郷土館	町教育委員会	昭和53年12月6日
二重口縁面縄東洞式土器	〃	〃	平成10年5月6日
嘉徳式土器2口	〃	〃	〃
面縄前庭式土器	〃	〃	〃
嘉徳I式A土器	〃	〃	〃
嘉徳II式A土器	〃	〃	〃

〈歴史資料〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
漢方医療器具	瀬戸内町立郷土館	町教育委員会	昭和53年12月6日
種子鳥銃3挺	〃	西 鐵 夫	昭和56年5月13日
陣笠3蓋	〃	〃	〃
酒瓶3本（陶芸品）	〃	〃	〃
酒瓶3本（錫製）	〃	〃	〃
化粧箱	〃	〃	〃
書類保管庫	〃	〃	〃
食器一式（ウフビリヤー）	〃	〃	〃
柱掛	〃	〃	〃

民俗文化財

〈有形民俗文化財〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
ノ口祭祀具（水晶玉2点）	瀬戸内町立郷土館	西 鐵 夫	昭和56年5月12日
嘉入ノ口祭祀具 ガラス玉2口、神衣1着	〃	町教育委員会	平成10年5月6日
与路ノ口祭祀具 （神扇）	〃	〃	〃
網野子ノ口祭祀具 サハリ（鉦）2口	〃	〃	〃

〈無形民俗文化財〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
アンドンデー	瀬戸内町網野子	網野子保存会	昭和53年12月6日

記念物

〈史 跡〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
垣漁跡	瀬戸内町木慈	木 慈 集 落	昭和53年12月6日

〈名 勝〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
ホノホシ海岸	瀬戸内町蘇刈浦底	瀬 戸 内 町	昭和53年12月6日
手久崎	瀬戸内町木慈東側岬	〃	〃

〈天然記念物〉

名 称	所 在 地	所 有 者 等	指 定 年 月 日
デイゴ並木	瀬戸内町諸鈍	諸 鈍 集 落	昭和53年12月6日
ウケジマルバネクワガタ	瀬戸内町池地	池 地 集 落	平成8年11月6日
サキシマスオウノキ	瀬戸内町油井	瀬 戸 内 町	平成20年1月9日

■令和3年度各会計当初予算の状況（会計別）

会計別	予算額	構成比
[一般会計]	8,575,672	69.7
[特別会計]	3,721,429	30.3
巡回診療施設	306,078	2.5
国民健康保険（事業）	1,299,420	10.6
国民健康保険（直診）	17,632	0.1
介護保険事業	1,296,680	10.5
後期高齢者医療事業	135,628	1.1
屠畜場事業	2,133	0.0
船舶交通事業	344,524	2.8
古仁屋港上屋事業	3,891	0.0
農業集落排水事業	63,371	0.5
簡易水道事業	252,072	2.0
合計	12,297,101	100.0

■令和3年度一般会計当初予算歳出の状況（性質別）

歳出区分		予算額	構成比
義務的	人件費	1,715,884	20.0
	扶助費	693,196	8.1
	公債費	1,551,280	18.1
	計（義務的経費）	3,960,360	46.2
投資的	普通建設事業費	1,699,782	19.8
	[補助事業費]	1,318,026	15.4
	[単独事業費]	321,288	3.7
	[負担金事業費]	60,468	0.7
	災害復旧事業費	119,604	1.4
	失業対策事業費		0.0
計（投資的経費）	1,819,386	21.2	
その他	物件費	949,542	11.1
	維持補修費	84,455	1.0
	補助費等	1,101,697	12.8
	積立金	121,034	1.4
	出資金、貸付金	10,371	0.1
	操出金	508,827	5.9
	予備費	20,000	0.2
	繰上充用金		0.0
計（その他経費）	2,795,926	32.6	
歳出合計	8,575,672	100.0	

■令和3年度公営企業（上水道事業）会計当初予算の状況

資料：水道課
単位：千円

区分	収入	支出
収益的収支	292,988	280,582
資本的収支	2	73,635

■令和3年度一般会計当初予算歳入の状況（性質別）

歳入区分		予算額	構成比
自主	町税	771,717	9.0
	分担金及び負担金	32,454	0.4
	使用料及び手数料	190,775	2.2
	財産収入	33,367	0.4
	寄附金	121,001	1.4
	繰入金	271,107	3.2
	繰越金	1	0.0
	諸収入	114,701	1.3
	計（自主財源）	1,535,123	17.9
依存	地方譲与税	59,142	0.7
	利子割交付金	508	0.0
	配当割交付金	1,546	0.0
	株式等譲渡所得割	883	0.0
	法人事業税交付金	3,354	0.0
	地方消費税交付金	177,590	2.1
	環境性能割交付金	1,384	0.0
	地方特例交付金	3,340	0.0
	地方交付税	4,070,760	47.5
	交通安全対策特別交付金	1,500	0.0
	国庫支出金	885,528	10.3
	県支出金	530,583	6.2
	町債	1,304,431	15.2
自動車取得税交付金		0.0	
計（依存財源）	7,040,549	82.1	
歳入合計	8,575,672	100.0	

■令和3年度一般会計当初予算歳出の状況（目的別）

歳出区分	予算額	構成比
1 議会費	88,857	1.0
2 総務費	1,010,631	11.8
3 民生費	1,541,164	18.0
4 衛生費	479,351	5.6
5 労働費	14,667	0.2
6 農林水産業費	631,465	7.4
7 商工費	280,159	3.3
8 土木費	993,351	11.6
9 消防費	501,451	5.8
10 教育費	1,327,054	15.5
11 災害復旧費	119,604	1.4
12 公債費	1,551,280	18.1
13 諸支出金	16,638	0.2
14 予備費	20,000	0.2
△ 繰上充用額		0.0
歳出合計	8,575,672	100.0

■町職員数

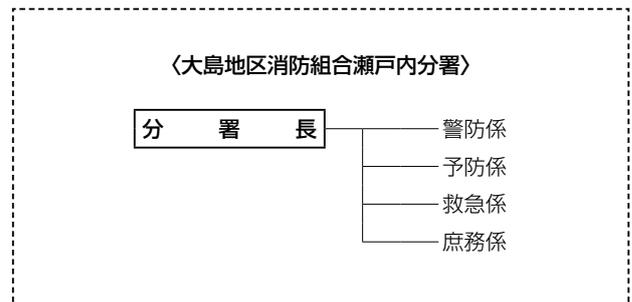
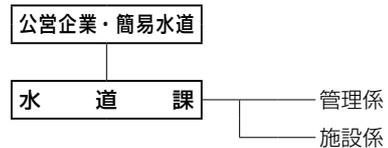
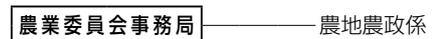
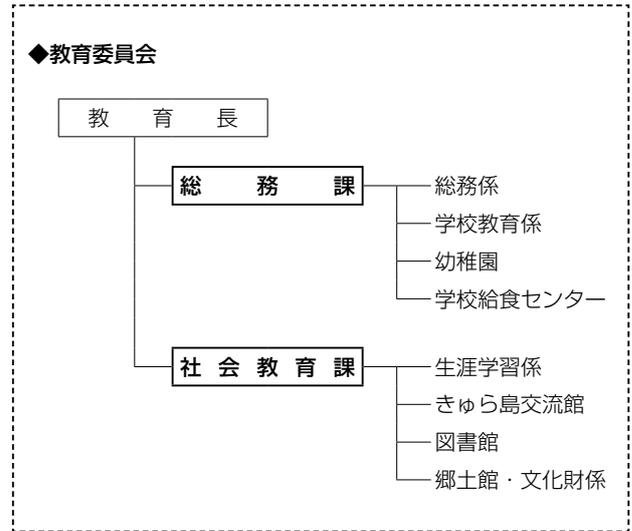
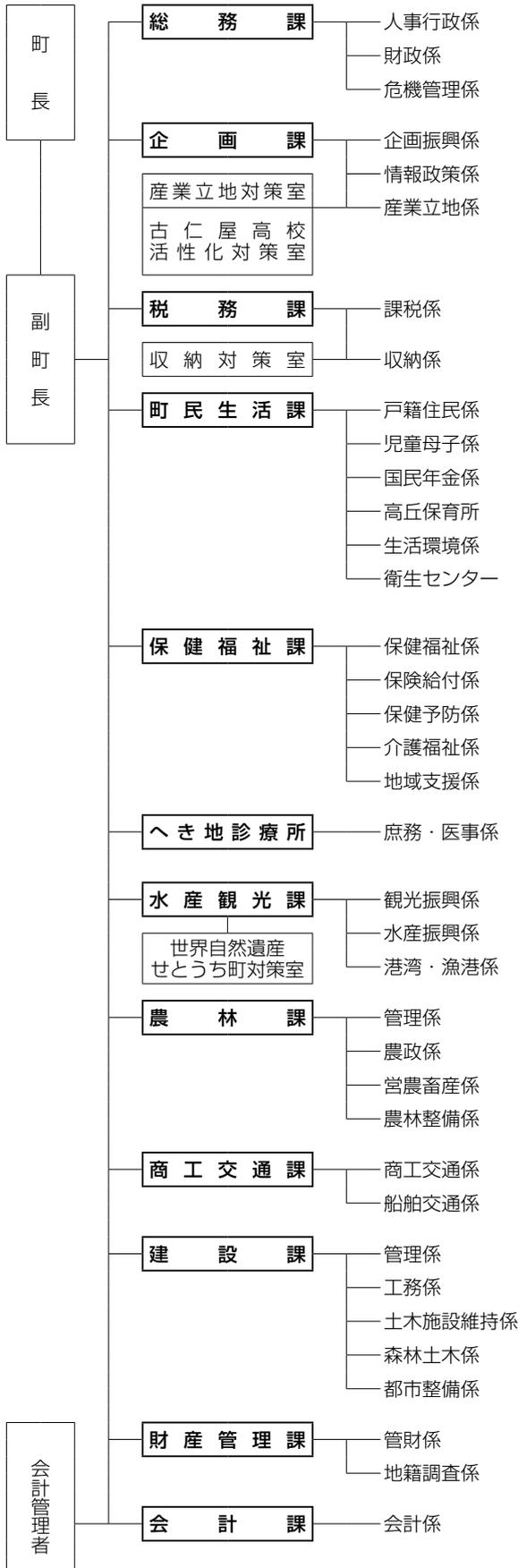
資料：総務課
期日：令和3年4月1日現在

区分	職員数(人)
町長 部 局	164
議会 事務局	3
農業委員会事務局	2
教育委員会事務局	23
選挙管理委員会事務局	1
監査委員	1
地方公営事業（水道）	8
合計	202

行政機構図

OUTLINE OF SETOUCHI TOWN KAGOSHIMA AMAMI ISLAND

期日：令和4年1月1日現在



歴代三役・正副議長

■歴代三役

期日：令和4年1月31日現在

区分	代	氏名	生年月日	就任年月	退任年月	前職
町長	1	川井 順英	昭37. 5. 2	昭31. 10. 5	昭47. 10. 4	鹿児島県会議員
	2	房 弘久	大9. 4. 20	◇47. 10. 5	◇55. 10. 4	町議会議員
	3	里 肇	大6. 4. 25	◇55. 10. 5	平7. 5. 31	町助役
	4	義永 秀親	昭2. 1. 6	平7. 6. 25	◇19. 6. 24	町議会議員
	5	房 克臣	昭27. 9. 17	◇19. 6. 25	◇27. 6. 24	町議会議員
	6	鎌田 愛人	昭38. 8. 7	◇27. 6. 25	在任中	町議会議員
副町長	1	池崎 輝房	昭25. 2. 12	平20. 4. 1	平27. 7. 1	町総務課長
	2	奥田 耕三	昭33. 10. 2	◇27. 7. 17	在任中	町会計課長
助役	1	林 有沢	明27. 2. 5	昭31. 11. 1	昭38. 3. 25	鎮西村長
	2	古原 義一	大8. 3. 1	◇38. 4. 6	◇40. 10. 2	町総務課長
	3	関 宮英	明36. 12. 20	◇41. 3. 5	◇45. 3. 4	町教育長
	4	里 肇	大6. 4. 25	◇45. 8. 12	◇53. 9. 10	町収入役
	5	阿部 米勝	大12. 10. 13	◇53. 12. 1	◇55. 10. 31	町収入役
	6	田中 辰男	昭3. 3. 4	◇55. 11. 1	◇59. 10. 31	町総務課長
	7	福原 哲二	大12. 9. 1	◇59. 11. 1	平5. 11. 10	町収入役
	8	矢野 守	昭10. 10. 25	平5. 11. 15	◇7. 8. 14	町総務課長
	9	鎌田 正文	昭3. 3. 10	◇7. 10. 1	◇11. 3. 31	町収入役
	10	川畑 義文	昭11. 7. 5	◇11. 7. 1	◇17. 4. 20	町収入役
収入役	1	中島 可長	明36. 12. 18	昭31. 11. 29	昭43. 12. 14	小学校長
	2	里 肇	大6. 4. 25	◇43. 12. 22	◇45. 8. 11	町総務課長
	3	柳 豊	大10. 8. 30	◇45. 8. 12	◇48. 9. 6	町総務課長
	4	阿部 米勝	大12. 10. 13	◇48. 12. 12	◇53. 11. 30	町議会議員
	5	渡島 義三	大11. 3. 22	◇53. 12. 1	◇55. 10. 31	町総務課長
	6	福原 哲二	大12. 9. 1	◇55. 11. 1	◇59. 10. 31	町議会事務局長
	7	鎌田 正文	昭3. 3. 10	◇59. 11. 1	平7. 9. 30	町総務課長
	8	川畑 義文	昭11. 7. 5	平7. 10. 1	◇11. 6. 30	町総務課長
	9	山下 福也	昭19. 5. 14	◇11. 7. 1	◇19. 3. 31	町総務課長

■歴代議長・副議長

期日：令和4年1月31日現在

議長				副議長			
代	氏名	就任年月	退任年月	代	氏名	就任年月	退任年月
1	嘉原 一	昭31. 9. 1	昭31. 12. 9	1	春日 富義	昭31. 9. 1	昭31. 12. 9
2	金子 友蔵	◇31. 12. 22	◇37. 12. 17	2	田中 伊久友	◇31. 12. 22	◇35. 12. 9
3	昇 喜一	◇37. 12. 17	◇41. 12. 17	3	喜原 朝栄	◇35. 12. 10	◇39. 12. 9
4	磨島 豊巳	◇41. 12. 17	◇45. 12. 17	4	鎌田 正巳	◇39. 12. 11	◇41. 12. 17
5	鎌田 正豊	◇45. 12. 17	◇47. 12. 9	5	實島 勲	◇41. 12. 17	◇45. 12. 17
6	昇 清一	◇47. 12. 18	◇49. 12. 17	6	喜原 朝栄	◇45. 12. 17	◇49. 12. 17
7	鎌田 正巳	◇49. 12. 17	◇55. 12. 9	7	伊藤 重成	◇49. 12. 17	◇51. 12. 9
8	屋崎 一	◇55. 12. 12	◇59. 12. 9	8	喜原 朝栄	◇51. 12. 15	◇55. 12. 9
9	内田 東三	◇59. 12. 10	◇61. 12. 12	9	内田 東三	◇55. 12. 12	◇59. 12. 9
10	赤井 忠憲	◇61. 12. 12	◇63. 12. 9	10	赤井 忠憲	◇59. 12. 10	◇61. 12. 12
11	原田 四郎	◇63. 12. 10	平2. 12. 9	11	原田 四郎	◇61. 12. 12	◇63. 12. 9
12	義永 秀親	平2. 12. 14	◇4. 12. 9	12	義永 秀親	◇63. 12. 10	平2. 12. 13
13	阿部 光勝	◇4. 12. 10	◇6. 12. 7	13	盛 満秀	平2. 12. 14	◇4. 12. 9
14	伊藤 茂光	◇6. 12. 8	◇8. 12. 9	14	伊藤 茂光	◇4. 12. 10	◇6. 12. 7
15	登島 一久	◇8. 12. 11	◇11. 6. 23	15	登島 一久	◇6. 12. 8	◇8. 12. 9
16	保 芳男	◇11. 6. 23	◇12. 12. 9	16	保 芳男	◇8. 12. 11	◇11. 6. 23
17	柴江 靖	◇12. 12. 13	◇14. 12. 16	17	昇 清隆	◇11. 6. 23	◇12. 12. 9
18	林 誠四郎	◇14. 12. 16	◇16. 12. 9	18	安 和弘	◇12. 12. 13	◇14. 12. 16
19	昇 清隆	◇16. 12. 10	◇20. 12. 9	19	稲田 隆一郎	◇14. 12. 16	◇16. 12. 9
20	堯 文俊	◇20. 12. 11	◇24. 12. 9	20	積 祐三郎	◇16. 12. 10	◇18. 12. 11
21	安 和弘	◇24. 12. 10	◇28. 12. 9	21	山下 修	◇18. 12. 11	◇20. 12. 9
22	岡田 弘通	◇28. 12. 10	令2. 12. 9	22	岡田 弘通	◇20. 12. 11	◇28. 12. 9
23	向野 忍	令2. 12. 10	在任中	23	向野 忍	◇28. 12. 10	令2. 12. 9
				24	池田 啓一	令2. 12. 10	在任中

■議員名簿

(任期/令和2年12月10日~令和6年12月9日)

(◎委員長 ○副委員長)

議長/向野 忍 副議長/池田 啓一

氏名	所属委員会	当選回数
◎元井 直志	総務経済	3
○永井しずの	◇	1
泰山 祐一	◇	1
向野 忍	◇	6
安 和弘	◇	8
◎柳谷 昌臣	文教厚生	2
○福田 鶴代	◇	1
池田 啓一	◇	5
中村 義隆	◇	6
岡田 弘通	◇	6

■年表

日本	西暦	事項
文治3年	1187年	・この年、舜天王即位と伝わる
文永3年	1266年	・大島等をはじめ琉球に入貢
慶長14年	1609年	・島津征縄により奄美は薩藩に服属
◇ 15年	1610年	・初めての大島の代官任命
◇ 18年	1613年	・直川智、清国からキビ苗を伝来して大和浜に試植
万治2年	1659年	・大島に奉行をおき道の島全体を管轄させる
正徳4年	1714年	・大島七間切、横目各1人をおく
享保18年	1733年	・東間切東方御蔵役所を嘉鉄村から古仁屋村に移す
◇ 19年	1734年	・東間切渡連と人文仁演代官に不服のことあって国許へ越訴
明和8年	1771年	・文仁演親子兄弟残らず本藩へ召喚、代官役人等入牢
安永4年	1775年	・東間切伊須浦へオランダ船漂着
寛政11年	1799年	・西間切古志村10人乗船、喜界に牛買いに行き八丈島に漂着
◇ 12年	1800年	・島詰め地方検者、諸鈍村字山の切り開きを命ずる
文政3年	1820年	・東間切の船、喜界へ商売へ行き帰途ルソン島に漂着
◇ 4年	1821年	・実久方与人能悦代々郷土格となる。郷土格計4家
◇ 5年	1822年	・油井村6反帆1隻商売のため住用に行き帰途朝鮮に漂着
天保3年	1832年	・西間切、東間切大洪水、田地破損上納不能、喜祖為宮世喜陳情のため上国、実久村与人稲恵上国
慶応2年	1866年	・渡連方阿木名・古仁屋・手安など疲弊田地荒廃する
明治8年	1875年	・西方久慈村に白糖工場建つ
◇ 13年	1880年	12月・大島に初めて通貨使用許可 ・久慈に教員養成のため伝習所を置く、明治19年まで卒業生約150人 ・古仁屋に砂糖交易を目的とする共志社設立
◇ 18年	1885年	11月・久慈に大島警察署西方分署をおく
◇ 19年	1886年	・大島警察署西方分署を古仁屋村に移し東方分署とした
◇ 22年	1889年	・篠川に高等小学校新設
◇ 24年	1891年	3月・久慈村に石炭庫をおく
◇ 29年	1896年	11月・国立曾津高崎灯台設置
◇ 30年	1897年	・西古見・徳之島山間に海底電線敷設、久慈村に電信本局をおく ・西古見・管鈍に鯉節製造始まる
◇ 33年	1900年	4月・篠川農学校設立、明治36年まで実業補修学校 ・西古見でカツオ試漁（以後カツオ漁盛んとなる） ・実久神社建立（実久三次郎記る）
◇ 34年	1901年	12月・久慈と早町局間電信開通
◇ 35年	1902年	11月・西方・東間切等に七分場を増加
◇ 38年	1905年	2月・久慈郵便局設置
◇ 39年	1906年	・かつお模範製造所を設置、伝習生養成 ・茶種子の無償配布をし栽培を試みる
◇ 41年	1908年	1月・古仁屋県道開さく始まる 2月・大阪商船、大阪・鹿児島・古仁屋を経て各島に航路開く 4月・島嶼町村制施行（各村に村長・収入役をおく） 4月・実久方と渡連方合併（請・与路含む）鎮西村誕生、役場を於斉におく 4月・小名瀬・阿鉄を合併して東方村生る 4月・宇検村と西方村合併して焼内村生る
◇ 43年	1910年	・油井小島・俵小島で真珠養殖始まる 大正6年初めて収穫
◇ 44年	1911年	9月・アメリカ軍艦・帝国軍艦久慈湾に数日停泊
大正元年	1912年	・東方村に公設消防組結成 ・東洋捕鯨株式会社の根拠地を東方村久根津におく
◇ 5年	1916年	5月・焼内村より西方村分村、役場を久慈におく 5月・鎮西村より実久村分村、役場を瀬武におく 5月・鎮西村役場を於斉から押角に移す
◇ 6年	1917年	・古仁屋県道西仲間まで開通
◇ 8年	1919年	・古仁屋県道完成
◇ 9年	1920年	4月・町村制施行各村に村長、助役、収入役をおく
◇ 10年	1921年	10月・古仁屋に築城本部をおき西古見・実久に砲台を構築 薩川港を軍港とする
◇ 11年	1922年	3月・ルリカケス、アマミノクロウサギ天然記念物に指定
◇ 13年	1924年	・東方村で甘蔗害虫チンチバック発生奨励金交付駆除に努める 9月・東方村蘇刈で同志数名集まり大杉栄の一周忌をなしホノホシに碑をたてる

日本	西暦	事項
大正13年	1924年	・大島警察署東方分署を古仁屋分署と改める
◇ 15年	1926年	・この頃、大島支庁を古仁屋設置運動おこる ・古仁屋分署が、古仁屋警察署となる
昭和2年	1927年	7月・古仁屋～名瀬間に電話開通 8月・天皇陛下古仁屋に行幸
◇ 5年	1930年	4月・東方村立古仁屋家政女学校設立（現古高の前身）
◇ 6年	1931年	1月・県蚕業取締役所大島支所古仁屋出張所設置 10月・県立水産試験場大島分場を東方村古仁屋に移転
◇ 11年	1936年	4月・東方村古仁屋町として町制施行
◇ 18年	1943年	10月・皆津崎沖で台湾疎開船富士丸米潜の攻撃で沈没
◇ 19年	1944年	6月・富山丸（8千トン）米潜により徳之島沖で沈没 10月・名瀬及び瀬戸内初空襲 11月・加計呂麻島三浦に林隊・同呑之浦に島尾隊の特攻隊配備
◇ 20年	1945年	9月・米軍瀬戸内の陸海軍武装解除を行う
◇ 21年	1946年	1月・古仁屋消防団編成 2月・二二宣言により奄美群島、本土から分離（2日） ・奄美群島臨時北部南西諸島となり、大島支庁を政庁とよび米軍政府おかれる 12月・日銀券（日本円）を軍票B円に替える ・日本人の平均寿命、男55.6歳・女59.4歳となる
◇ 22年	1947年	7月・低物価政策実施本土との航海全面的に禁止される
◇ 24年	1949年	4月・古仁屋実業高等学校を古仁屋高等学校と改称
◇ 25年	1950年	4月・日本本土との定期航路復活
◇ 26年	1951年	2月・奄美大島日本復帰協議会結成（委員長泉芳朗） 5月・14才以上の住民の99.8%の復帰署名完了
◇ 27年	1952年	4月・群島政府解消、琉球中央政府創立（琉球列島米国民政府布告） 4月・国旗掲揚許可 9月・琉球中央政府「奄美地方庁」設置
◇ 28年	1953年	8月・ダレス奄美大島日本復帰の声明出る 12月・奄美群島日本復帰（25日） 12月・古仁屋高等学校県立となる
◇ 29年	1954年	4月・市町村教育委員会発足 4月・義宮殿下御来町 5月・重成知事一行来島（請島・与路島両島視察） 7月・瀬戸内町農業協同組合設立（組合員1,941人） 7月・瀬戸内漁業協同組合設立（組合員698人）
◇ 31年	1956年	9月・実久村、鎮西村、西方村、古仁屋町の4ヵ町村が合併し瀬戸内町となる（1日） 10月・町長選挙（川井順英氏・52才当選）、有権者数14,990人（5日） 11月・町議会議員選挙（定数30人）
◇ 32年	1957年	12月・加計呂麻島・請島・与路島に町営電気事業開設 12月・役場支所（鎮西・実久・西方）廃止 12月・町章制定
◇ 33年	1958年	4月・町立高丘保育所・母子寮設置 7月・広報せとうち第1号を発刊 10月・大島本島南部農業改良普及所設置 12月・古仁屋市街地大火（1,375戸、5,311人罹災）（27日）
◇ 35年	1960年	7月・役場庁舎完成 10月・職業安定所瀬戸内分室設置（21日） 12月・瀬戸内町商工会設立（会員289人）
◇ 36年	1961年	4月・大島家畜保健所瀬戸内出張所設置 4月・瀬戸内福祉出張所設置 7月・義宮殿下御来町
◇ 37年	1962年	2月・海上自衛隊奄美基地分遣隊開隊 7月・池地診療所（町営）設営 10月・古仁屋港四種漁港に指定
◇ 38年	1963年	6月・NHK総合テレビ中継局開局 9月・台風20号来襲被害甚大
◇ 39年	1964年	7月・町営屠畜場完成

日本	西暦	事項
昭和40年	1965年	4月・町営診療船建造
〳 41年	1966年	4月・瀬戸内町中央公民館完成
〳 42年	1967年	3月・町営種豚増殖センター設置
〳 43年	1968年	3月・瀬戸内町農業共済組合設立（組合員895人） 4月・皇太子殿下御夫妻御来町
〳 44年	1969年	3月・急患輸送艇建造
〳 45年	1970年	3月・町営加計呂麻電気事業（請島・与路両島を含む）大島電力に合併
〳 46年	1971年	4月・高松宮殿下御夫妻御来町 4月・都市計画整理事業開始（高丘・宮前地区）
〳 47年	1972年	5月・特別養護老人ホーム奄美の園設置（法）聖母会 10月・天皇皇后両陛下下行幸（古仁屋2回目）
〳 48年	1973年	4月・町立船津保育所設立
〳 49年	1974年	2月・大島海峡一帯国定公園指定
〳 51年	1976年	5月・諸鈍シバヤ、国の重要無形民俗文化財指定 7月・合併20周年を記念して町民憲章を制定
〳 52年	1977年	6月・町立母子センター設立
〳 53年	1978年	12月・加計呂麻フェリー就航
〳 54年	1979年	3月・団体営節子養豚団地完成 4月・学校給食センター完成（瀬久井） 6月・養護老人ホーム寿老園設置（法）潤正会
〳 55年	1980年	3月・都市区画整備事業（高丘・宮前）完成
〳 56年	1981年	3月・伊子茂地区振興センター（花富）完成 9月・古仁屋中学校全国相撲大会で優勝
〳 57年	1982年	3月・篠川地区センター完成 3月・大島紬技能者養成所瀬久井に完成 3月・園地整備事業（ヤドリ浜）完成 4月・町営へき地診療所完成
〳 58年	1983年	3月・於有地区高齢者コミュニティーセンター完成 8月・古仁屋中学校全国相撲大会で優勝
〳 60年	1985年	4月・コミュニティー施設、生活館（西阿室） 10月・清水総合公園（陸上競技場完成） 10月・第1回町民体育大会開催
〳 61年	1986年	3月・町営定期船せとなみ（鋼船50t）就航
〳 62年	1987年	5月・花天地区に本町で初めての無人販売所開設
〳 63年	1988年	7月・メキシコからマリガランテ号来航 11月・第1回加計呂麻島ジョギング大会開催
平成元年	1989年	8月・土屋佳照県知事来町、中央公民館で対話集会開催（23日） 9月・第1回町高齢者大会開催 9月・鹿児島県議会企画建設委員会が、初めて請・与路を視察 12月・町役場の新庁舎が完成し、開庁式を行う（1日） 12月・大島地区消防組合瀬戸内分署、芦瀬埋立地新庁舎へ移転（5日）
〳 2年	1990年	1月・第1回加計呂麻婦人バレーボール大会（21日） 2月・第1回職域対抗駅伝競争大会開催（奄美養魚優勝）（23日） 4月・映画「死の棘」完成試写会（15日） 4月・漁協、漁村センター・水産物荷さばき施設落成式（5日） 5月・実久公民館落成式（2日） 5月・須子茂離島住民生活センター落成式（5日） 9月・奄美大島を襲った台風19号で、死者12人、重傷者4人、軽傷者2人、その他家屋、道路、港湾、商工、農林水産業に大きな被害を出した（18日） 10月・第13回日本民謡大賞で中野律紀さん優勝（20日）
〳 3年	1991年	3月・KKB鹿児島放送瀬戸内中継局が開局（9日） 3月・古仁屋郵便局新局舎落成（10日） 4月・南部大島四ヶ町村議員大会開催（25日） 5月・諸数集会施設落成式（19日） 5月・第1回全国選抜大学社会人対抗相撲大会で「重村一人」氏優勝、初代チャンピオンとなる（5日） 7月・第1回商工まつり開催（30日）

日本	西暦	事項
平成3年	1991年	11月・第5回世界空手道選手権大会で「緑健児」氏優勝、世界チャンピオンとなる(4日)
〳 4年	1992年	2月・請阿室海岸に体長16.5メートル、体重60トンのマッコウクジラの死体漂着 3月・「奄美の園」新園舎完成 3月・押角駐在所が、俵に新築移転 3月・高知山に展望台完成 4月・俵コミュニティセンター完成(12日) 6月・「瀬戸内民俗芸能保存会」設立 東京で島唄(東節)大会を開催(20日) 12月・第1回福祉健康まつり開催(6日) 12月・テレビの難視聴地域の解消を図るために、嘉徳集落に共同受信施設第1号が完成
〳 5年	1993年	2月・古仁屋漁港再開発計画(コニヤ21プラン)に伴う、古仁屋漁港整備工事の起工式(24日) 6月・瀬戸内警察署の新庁舎が完成し、落成式を行う(15日) 7月・国内初の海のマラソン「第1回奄美シーカヤックマラソンIN加計呂麻」大会が本町の大島海峡を舞台に開催される(11日) 8月・加計呂麻島・請島・与路島の住民で組織する「三島民会議」の総会が、加計呂麻島の諸鈍小中学校体育館で開催(29日) 11月・第42回全国青年大会相撲競技で団体戦優勝
〳 6年	1994年	11月・中国上海市人民対外友好協会(趙雲俊会長)一行が本町に来訪(23日~25日) 7月・瀬戸内町立図書館の開館式(9日) 11月・新造船「フェリーかけろま」就航式(1日)
〳 7年	1995年	3月・瀬戸内町衛生センター竣工式(25日) 5月・瀬戸内町へき地診療所竣工式(1日) 10月・へき地学校高度情報通信設備(マルチメディア)活用方法研究開発事業開設式(6日) 11月・阿木名~古仁屋間の地蔵トンネル開通式(25日) 11月・松竹映画「男はつらいよ・紅の花」瀬戸内町ロケ実施 11月・国営栽培センター奄美事業所(クロマグロ養成施設)開所式(26日)
〳 8年	1996年	3月・日中友好交流事業の本町小中学生8人が上海から帰町(24日) 3月・里肇前町長並びに有村治峯氏、瀬戸内町名誉町民顕彰(29日) 3月・古仁屋コーラル橋完成(28日) 4月・町立郷土館開館(7日) 5月・与路島沖68メートルの海底で「97式飛行艇」を52年ぶりに確認(1日) 6月・秋篠宮・紀子妃殿下瀬戸内町御訪問(3日~4日) 7月・町制施行40周年記念式典開催(26日) 8月・第1回瀬戸内町人材育成海外派遣事業実施 9月・本町を世界に発信、全郡の市町村で最初のホームページ開設火入れ式(2日) 9月・町制施行40周年・中央公民館会館30周年記念、第1回町子供島口大会開催(14日) 10月・瀬戸内ライオンズクラブ結成30周年記念「町民憲章の碑」を役場前庭に建立(3日) 10月・町制施行40周年記念奄美国際空手道選手権大会を清水体育館で開催(17日) 10月・特別養護老人ホーム「加計呂麻園」が伊子茂に落成(18日)
〳 9年	1997年	2月・第1回瀬戸内町さわやかレクリエーション祭の開催 4月・11ヶ国から15隻の帆船、ヨットが参加して「大島海峡世界帆船まつり」が開催される(14日~16日) 7月・諸鈍で寅さん記念事業記念式典が行われた(27日) 12月・「NHKのど自慢」の公開録画(清水体育館)
〳 10年	1998年	8月・「第1回瀬戸内町子ども議会」が町役場本会議場で開催(8日) 9月・サンゴの白化現象、本町を含む琉球諸島全域に広がる 10月・老人保健施設「せとうち」がオープン(1日)
〳 11年	1999年	4月・「営農支援センター」が開所(嘉鉄) 11月・全国青年大会で相撲優勝
〳 12年	2000年	4月・ごみの分別収集がスタート(1日) 5月・与路・池地・請阿室地区にリサイクル施設完成 10月・豪雨で加計呂麻地区を中心に156世帯が浸水(7日) 12月・国道昇格25年を記念したモニュメント(古仁屋小前)除幕式(2日) 12月・有村治峯氏(名誉町民)の合同葬儀を奄美文化センターで実施(3日)
〳 13年	2001年	1月・秋篠宮殿下が自然動植物視察のため御来町(19日) 5月・作家故島尾敏雄氏を縁とした福島県小高町と姉妹都市盟約を締結(20日) 5月・渡連地区公民館落成式(27日) 6月・近畿大学水産研究所大島実験場(花天)開所式(5日)

日本	西暦	事項
平成13年	2001年	6月・鹿児島大学・KDDI共同研究による離島遠隔医療実験開通式（8日） 7月・古仁屋海上保安署新庁舎竣工式（18日） 7月・農業集落排水施設（阿木名）通水式（21日） 11月・古仁屋中学校新校舎落成式（24日） 12月・「日本復帰記念の日」を制定
◇ 14年	2002年	3月・国道58号バイパス整備促進期同盟発足式（24日） 4月・瀬戸内町救難所開設（24日） 6月・嘉鉄公民館落成式（1日） 6月・「リッキ・ちとせ後援会」設立（21日） 11月・古仁屋高等学校新校舎落成式（21日）
◇ 15年	2003年	4月・新造船「せとなみ」就航（1日） 4月・管鈍集会所落成式（28日） 6月・瀬田良市氏に名誉町民顕彰（12日） 11月・特産品販売組合「ゆりどろ」サイトオープン（1日） 12月・帆船「海王丸」古仁屋港に初接岸し記念事業実施（6日～8日） 12月・日本復帰50周年記念事業（23日～25日）静忠義氏記念碑
◇ 16年	2004年	2月・奄美大島地区合併協議会に加入 3月・鹿児島地方方法務局瀬戸内出張所廃止（19日） 5月・池地公民館落成式（15日） 11月・奄美大島地区合併協議会を離脱（21日）
◇ 17年	2005年	4月・請阿室公民館落成式（30日） 7月・瀬戸内町区長連絡協議会設立（26日） 10月・平家来島800年記念祭開催（9日）
◇ 18年	2006年	6月・「御皇室献上時計草産地の町」との称号をいただく（26日） 6月・東京農業大学との包括連携協定書調印式（27日） 10月・福島県南相馬市（旧小高町）と友好都市盟約（20日） 10月・故「川井順英氏」胸像建立（21日） 10月・町政施行50周年式典・祝賀会（21日） 10月・房弘久元町長並びに昇曙夢（直隆）氏名誉町民顕彰（21日） 11月・クロマグロ国際シンポジウム（11・12日） 11月・県道名瀬～瀬戸内線道路改築工事「油井トンネル」開通式（22日） 12月・瀬戸内町体育協会設立50周年記念式典（17日）
◇ 19年	2007年	5月・古仁屋漁港開港式及び「せとうち海の駅」落成式典（1日） 5月・芝公民館集会所落成式（4日） 10月・にっぽん丸寄港（26日）
◇ 20年	2008年	1月・古仁屋港手安地区完成式典（25日） 1月・勝浦トンネル貫通式（31日） 2月・ぱしふいっくびいなす寄港（28日） 4月・ふじ丸寄港（29日）
◇ 21年	2009年	1月・にほんの里100選に「加計呂麻島」選定 3月・島の宝100景に「諸鈍シバヤ」「与路島の涼をよぶサンゴの石垣」選定 3月・県道安脚場～実久線道路改築工事「呑之浦トンネル」開通式（18日） 5月・諸鈍シバヤがユネスコ無形文化遺産候補に登録（20日） 8月・山田洋次児童文庫設置（22日）
◇ 22年	2010年	3月・新移動図書館車納車（30日） 4月・古仁屋高校存続署名を県に提出（15日） 4月・与路島に小型焼却炉設置（23日） 7月・勝浦公民館落成式（10日） 10月・「マグロを語ろう」シンポジウム開催（14日）
◇ 23年	2011年	2月・房弘久名誉町民の町民葬（12日） 3月・請島に焼却炉設置（29日） 11月・学校法人加計学園と包括連携協定（28日）
◇ 24年	2012年	4月・エフエム瀬戸内開局（25日） 6月・手安公民館新築落成式（3日） 6月・久根津公民館新築落成式（10日） 7月・寄り合い処せとうち開所式（19日）

日本	西暦	事項
平成24年	2012年	8月・古仁屋高校振興対策協議会設立（15日） 8月・ラジオ体操・公開生放送（20日） 11月・徳田虎雄氏名誉町民顕彰（1日）
◇ 25年	2013年	1月・レスリング吉田沙保里選手が来庁（4日） 1月・中国から「百年好会」と書かれた風船が勢里へ飛来（13日） 1月・小型動力ポンプ付軽消防自動車配備（請島）（24日） 1月・東京外国語大学と「瀬戸内のシマグチ」対訳付きDVD作成（1日） 5月・プレ・ゴールデンエイジ事業開始（17日） 6月・瀬戸内町議会インターネット中継開始（1日） 8月・世界自然遺産せとうち町推進室設置（23日） 11月・奄美群島日本復帰60周年瀬戸内町記念事業（2～3日） 11月・古仁屋高校家庭クラブが県家庭クラブ大会最優秀賞受賞（6日）
◇ 26年	2014年	2月・まちづくりフェスティバル開催（16日） 3月・第1回「かごしま・人・まち・デザイン賞」景観づくり部門にて、与路島の石垣が大賞受賞（27日） 4月・西古見ナハンマ公園完成式（2日） 6月・蘇刈集落公民館落成式（1日） 7月・第95回全国高校野球選手権記念鹿児島大会 古仁屋高校初のベスト16（16日）
◇ 27年	2015年	3月・クロマグロのモニュメント完成（15日） 3月・網野子トンネル開通式（延長4243m）（22日） 3月・加計呂麻島展示・体験交流館落成式（23日） 5月・世界の新種トップ10「アマミホシゾラフグ」選出（21日） 6月・鎌田愛人氏（第6代町長）初登庁（25日） 6月・久根津トンネル開通式（延長318m）（29日） 11月・農林水産物直売所「いっちゃんむん市場」オープン（瀬相）（8日） 11月・国民文化祭仮面の世界 in 奄美開催（15日） 12月・ミカンコミバエによる果物等の移動制限（13日）
◇ 28年	2016年	2月・寄り合い処せとうち移転オープン（2日） 2月・第3回「かごしま・人・まち・デザイン賞」景観づくり部門において、須子茂集落の生け垣が優秀賞を受賞（18日） 3月・救急車配備（加計呂麻島）（30日） 4月・(株)ラムールと災害時における飲料水の提供に関する協定締結（23日） 5月・すこやか福祉センター開所（10日） 5月・奄美大島南部町村地域医療介護連携協議会発足（12日） 5月・パッションブランド産地協議会発足（23日） 6月・奄美大島水産業推進協議会発足（6日） 7月・ミカンコミバエによる果物等の移動制限全面解除（14日） 7月・いっちゃんむん市場来場者2万人達成（22日） 8月・加計呂麻島であまくまサイクル開始（30日） 9月・NTT西日本鹿児島支店と特設公衆電話設置の協定締結（13日） 10月・町制施行60周年記念式典（15日） 11月・瀬戸内警察署と暴力団排除協定締結（9日） ・町制施行60周年記念公開シンポジウム開催（19日） 12月・3代目フェリーかけるま就航（1日） ・KKBふるさとCM大賞で2回目のグランプリ受賞（3日）
◇ 29年	2017年	1月・大島電気工事業協同組合と災害時における電気設備等の応急対策に関する協定を締結（13日） ・緑健児氏をせとうち創生プロモーターに委嘱（16日） 2月・鹿児島大学と包括連携協定締結（15日） 3月・町内郵便局と地域における協力に関する協定締結（3日） 3月・瀬戸内町地域政策顧問委嘱式（23日） 4月・深山トンネル開通式（9日） 7月・近畿大学と包括連携協定締結（3日） 12月・与路島がクールジャパン大賞を受賞（18日）
◇ 30年	2018年	3月・マネン崎展望公園開園式（10日） 4月・西古見防災コミュニティセンター落成式（22日） 5月・瀬戸内町きゅら島交流館完成（28日） 6月・島の保健室開所（加計呂麻島）（1日）

日 本	西 暦	事 項
平成30年	2018年	6月・スクールバス「青雲号」運行開始（加計呂麻島）（12日）
◇ 31年	2019年	1月・「世界自然遺産奄美トレイル」瀬戸内町エリア開通式（26日） 3月・薩川小学校が文部科学大臣表彰を受賞（7日）
令和2年	2020年	3月・小型ポンプ付軽消防車配備（与路島）（17日） 4月・4代目救急患者搬送艇「おとり」配備（22日） 7月・瀬戸内町農業振興会肉用牛部会と相互連携に関する協定締結（29日） 7月・明生関、十両初優勝（令和2年大相撲7月場所） 10月・ドローン活用に向けた連携協定締結（14日） 10月・災害時における電動車両等の支援に関する協定締結（29日） 11月・嘉鉄集落と県道を結ぶ「みなと橋」通り初め式（29日）
◇ 3年	2021年	3月・日本郵便株と包括的連携協定締結（24日） 5月・明生関、大相撲夏場所で新小結に昇進（令和3年大相撲5月場所） 7月・奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島が世界自然遺産登録（26日） 7月・明生関、大相撲秋場所で新関脇に昇進（令和3年大相撲7月場所） 10月・KKBふるさとCM大賞で3回目のグランプリ受賞（29日） 12月・すこやか福祉センターHUB完成（23日）
◇ 4年	2022年	1月・小型動力ポンプ付軽積載車配備（池地集落）（14日）